

コーンスターチ (Corn Starch)価格動向：市場インサイト、需要分析、および将来展望

コーンスターチ (Corn Starch)は、トウモロコシから得られる広く利用されている炭水化物で、食品加工、甘味料、医薬品、紙、繊維、生分解性材料など、幅広い分野で使用されています。その価格動向は主にトウモロコシ価格、農業生産量、産業需要、世界貿易の流れに影響されるため、農業と産業の両方のサイクルと密接に関連しています。

世界市場の概要

- 世界のコーンスターチ産業は、**2025年には約9032万トンに達し**、食品、医薬品、工業分野における需要拡大に牽引され、**2034年までに約1億938万トン**に成長すると予測されている。
- コーンスターチの需要は主に以下の要因によって支えられています。
 - 食品・飲料製造
 - 甘味料および発酵産業
 - 紙および包装用途
 - 生分解性およびバイオベース材料
- 近年の価格動向は、原料や季節的な需要に応じて、概ね安定からやや上昇傾向を示しており、変動は中程度である。

2025年の価格動向概観(四半期別)

2025年第1四半期：市場は安定し、コスト圧力は緩やか

- 主要地域全体で価格は 概ね安定していた。
 - 米国: 約502米ドル/トン
 - 中国: 約403米ドル/トン
 - ドイツ: 約623米ドル/トン
- 市場の推進要因：
 - 安定したトウモロコシ供給
 - 食品業界と製紙業界からの需要は中程度
 - エネルギーコストと物流コストの上昇が若干の上昇圧力となっている。

➡ 市場状況：需給バランス良好、インフレ圧力は緩やか

2025年第2四半期：需要低迷による軟化傾向

- 以下の理由により、いくつかの地域で価格が下落しました。
 - 食品・発酵分野からの調達削減
 - トウモロコシの入手可能性の向上
 - 在庫調整
- 例：
 - 米国での価格は1トンあたり約495米ドルまで下落した。
 - ドイツでの価格は1トンあたり約601米ドルまで下落した。

➡ 市場状況：需要減速＋原料供給過剰

2025年第3四半期：供給過剰圧力による低迷が続く

- さらなる価格下落が観測された：
 - 米国：約492米ドル/トン
 - 中国：約398米ドル/トン
- 重要な要素：
 - トウモロコシの豊作により、原材料の供給が豊富となる
 - 輸出需要の低迷
 - 在庫水準が高い

➡ 市場状況：供給過剰による弱気トレンド

2025年第4四半期：市場の回復と価格上昇

- 主要地域全体で価格が回復した。
 - 米国：約503米ドル/トン
 - 中国：約406米ドル/トン
 - ドイツ：約622米ドル/トン
- 成長の原動力：
 - 食品加工および包装における季節的な需要
 - トウモロコシ原料価格は堅調
 - 安定した製粉作業

➡ 市場状況：需要主導の回復

2026年の市場動向：初期の強気な勢い

- 2026年に入ると、コーンスターチの価格は世界的に上昇傾向を示し、その背景には以下の要因があった。
 - 輸出需要が好調
 - 季節的な消費パターン
 - 一部地域でサプライチェーンが逼迫している
- しかし、より広範な農業情勢は依然として不透明である。
 - 世界のトウモロコシ市場は、供給過剰と貿易の不確実性により価格圧力にさらされている。

➡ インサイト：コーンスターチ価格は上昇する可能性があるが、原料の動向が上昇幅を制限する可能性がある

地域別分析

北米

- 傾向：安定しており、変動は緩やか
- 主な推進要因：
 - 輸出需要（ラテンアメリカ、アジア）
 - 国内在庫水準
 - トウモロコシの収穫サイクル
- 価格は2025年半ばに軟化したことが、輸出の増加により年末にかけて回復した。

アジア太平洋

- トレンド：供給圧力による変動が激しい
- 主な推進要因：
 - トウモロコシの生産量が多い(特に中国)
 - 輸出競争
 - 食品、繊維、製紙業界からの需要
- 第3四半期は供給過剰だったが、第4四半期は安定した産業需要により回復した。

ヨーロッパ

- 傾向：比較的安定しており、コスト変動が見られる。
- 主な推進要因：
 - エネルギーコスト
 - 産業需要
 - 輸出入動向
- 生産コストの上昇と構造化された契約により、価格は堅調に推移した。

ChemAnalystJapanからコーンスターチ (Corn Starch)のリアルタイム価格を入手：

<https://www.analystjapan.com/Pricing-data/corn-starch-1282>

価格決定の主要要因

1. トウモロコシ(コーン)原料価格

- 最も重要な要素：
 - トウモロコシの生産量が多いほど、デンプンの価格が下がる。
 - 供給不足 → 価格上昇
- 2025年の世界的な穀物供給過剰は、原料価格への下方圧力の一因となった。

2. 食品・飲料業界の需要

- 最大の消費セグメント：
 - 加工食品
 - 甘味料
 - 軽食と飲み物
- 季節的な需要(祭り、夏の消費)が価格高騰を引き起こす

3. 産業用途

- 紙、繊維、生分解性包装材分野：
 - 安定したベースライン需要を提供する
 - 長期的な成長に影響を与える

4. 在庫とサプライチェーンの動向

- 在庫過剰 → 価格下落
- 供給不足 → 価格上昇
- 2025年には、以下のような明確なサイクルが見られました。
 - 在庫積み増し → 第2四半期～第3四半期の減少
 - 在庫補充 → 第4四半期の回復

5. エネルギーおよび物流コスト

- 製粉および輸送コストが価格に影響を与える
- 特にヨーロッパや輸入依存地域で重要

市場見通し

短期(2026年)

- 価格の予想変動:
 - やや上昇傾向で、一定のレンジ内で推移する。
- 支援:
 - 季節的な需要
 - 輸出活動
- 制限事項:
 - トウモロコシの供給が豊富

長期展望

- 成長を牽引する要因:
 - 加工食品需要の拡大
 - 生分解性材料の使用増加
 - 医薬品産業および発酵産業の成長
- しかし:
 - 農産物価格の変動サイクルは、今後も周期的な価格変動を引き起こし続けるだろう。

シナリオ例: 原料供給ショック

次のような状況を考えてみましょう。

- 悪天候により世界のトウモロコシ生産量が減少
- トウモロコシ価格が急騰
- 食品および包装材の需要は依然として堅調である。

この場合:

- トウモロコシ澱粉の生産コストが上昇
- 原料不足により供給が逼迫する
- 買い手は利用可能な供給をめぐる競争する。

➡ 結果: トウモロコシ澱粉の価格が急激に上昇。特に輸入依存地域で顕著。

主なポイント

- コーンスターチの価格は、石油化学製品とは異なり、農業サイクルと密接に関連している。
- 2025年は、安定→衰退→回復という明確なサイクルを示した。
- **2026年**は緩やかな上昇基調でスタートする が、原料の供給過剰によるリスクは依然として残る。
- 食品、包装、産業分野からの需要が長期的な成長を支え続けている。

ANALYST JAPAN

Call +1 (332) 258- 6602

1-2-3 Manpukuji, Asao-ku, Kawasaki 215-0004 Japan

Website: <https://www.analystjapan.com>

Email: sales@analystjapan.com